

平成 24 年度 日本大学 感染症診断オープンスキルラボ 「伴侶動物と野生動物における
人獣共通感染症の診断」 アンケート集計

実施日 : 平成 25 年 3 月 11 日(月)、15 日(金) (2 日間)

会場 : 日本大学 生物資源科学部 6 号館 2 階 621 実習室

参加者 : 12 名 (東大 : 3 名 (内 3 年生 2 名、4 年生 1 名)、麻布大 : 1 名 (3 年生)、日獣
大 : 6 名 (内 3 年生 5 名、4 年生 2 名)、日大 : 2 名 (4 年生))
(アンケート回収 12 名)

1. 参加の動機、きっかけは何ですか？

- ✓ ラボの先生からお声がかかったから。
- ✓ 自分の専門とする分野に関係のある実習であり、経験を積むため。きっかけは研究室の先生に声をかけられたこと。
- ✓ バルトネラは実家でネコを飼っている自分にはとても興味深かったので、どんな知見が得られるかと思い参加した。
- ✓ 公務員獣医師に興味があり、野生動物からのウイルス分離など、おもしろそうだし、実践的だと思ったので。
- ✓ 感染症に関わる職業に興味があったため。
- ✓ 突発的に。実験に興味があるので参加しようと思った。
- ✓ 先生から声をかけてもらったので。そして、小動物臨床以外の進路を考えており、スケジュールの都合があったため。
- ✓ 私が所属する研究室の先生と友人に誘われたので。
- ✓ 野生動物と zoonosis に興味があったため。
- ✓ 診断の手技を身につけたかったから。
- ✓ 感染症診断に興味があったため。

2. 今回の実習に興味がありましたか？

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 興味を持てた | ・・・11 人 (92%) |
| 2. どちらかといえば興味を持てた | ・・・1 人 (8%) |
| 3. どちらかといえば興味を持てなかった | ・・・0 |

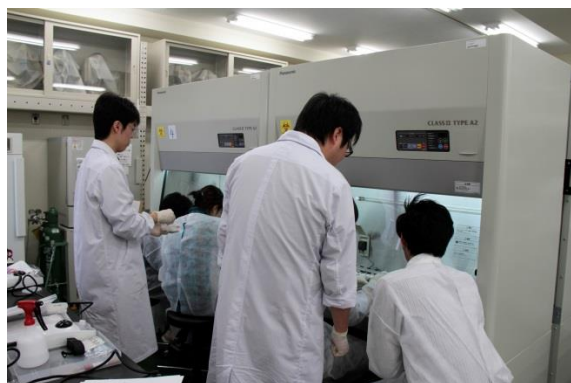


3. 実習の目的と意義について貴方は理解できましたか？

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1. おおよそ(90~100%)理解できた | ・・・11人(92%) |
| 2. 半分以上は理解できた | ・・・1人(8%) |
| 3. 半分も理解できなかった | ・・・0 |

4. 実習の分量についてはどのように感じましたか？

- | | |
|----------------|------------|
| 1. どちらかという和多い | ・・・0 |
| 2. ちょうど良い | ・・・8人(67%) |
| 3. どちらかといえば少ない | ・・・4人(33%) |



5. 実習内容の難易度についてはどのように感じましたか？

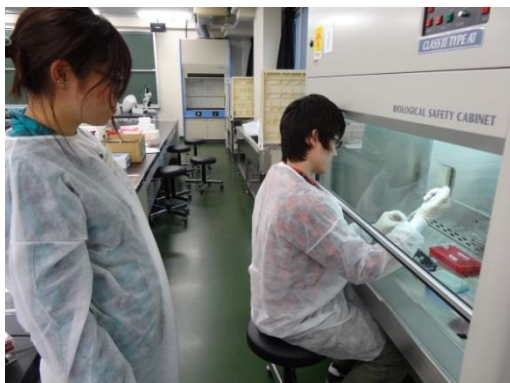
- | | |
|----------------|------------|
| 1. 難しい | ・・・0 |
| 2. どちらかといえば難しい | ・・・0 |
| 3. ちょうど良い | ・・・8人(67%) |
| 4. どちらかといえば易しい | ・・・2人(17%) |
| 5. 易しい | ・・・2人(17%) |

(1または2と回答した方: どういったところが難しかったですか？)

6. 実習の進め方はいかがでしたか？

- | | |
|---------------|------|
| 1. 速い | ・・・0 |
| 2. どちらかといえば速い | ・・・0 |

- 3. ちょうど良い ……10人(83%)
- 4. どちらかといえば遅い ……2人(17%)
- 5. 遅い ……0



7. 今回、オープンスキルラボとして連携大学での実習を開講したことについて、どのように評価しますか？

- 1. 大いに評価する ……10人(83%)
- 2. ある程度評価する ……2人(17%)
- 3. どちらかといえば評価しない ……0
- 4. 全く評価しない ……0

8. その他、オープンスキルラボ実習への要望や意見などを自由に記載してください。

- ✓ 3年生以上に、参加を限定する必要はあまり感じませんでした。日大獣医がどういった分野にひいでているか、申し訳ありませんが、存じ上げませんが、そういった特色みたいなものも生かせる実習にすれば、より有意義なものになると思いました。
- ✓ 今後の自身の研究において必ず使う技術をおさらいしたのは良かったが、他ではやったことのない、しかし大事な技術を習得するような実習の方が長いスパンでみたとき有意義ではないかと思う。新鮮みに少し欠けた印象。
- ✓ 今回のPCR、HA試験というものは既に実習で経験していたため、少々物足りないものでした。ただ、担当の先生方と扱っているウイルス、細菌について、個別にお話しをさせていただいたので、その点では満足しています。今回の様に実習で連携するのも、すごく新規性があり、すばらしいので座学の講義の時間を増やしていただけるとありがたいです。実習の内容もその研究室でしていることを追体験できるような内容を希望します。
- ✓ 今まで大学で行った実習や、授業内容の復習にもなったし、新しい知識も得ることができて、とても有意義な実習となった。また、自分の知識で足りなかった点や技術を再確認できて良かった。他大学に友達ができただけのも良かった。定員もちょうど良かった。
- ✓ 他大学の方とも交流が持てとても良い経験になったので、次回も是非参加したいです。大学の卒業式などかぶらない日程にしてもらえると嬉しいです。また、告知もしっかりしてもらえると、忘れずに参加しやすいです。

- ✓ 大学の授業(座学)で得た知識が実際どのように実験、検査で用いられているかを学び、とても楽しかったです。2日間という短い期間でしたが、もっと知りたい、実験したい、と思わせる内容で、参加できて良かったです。来年も是非参加したいと思いました。
- ✓ 以前経験したことのある実技に加えて、大学の実習ではあまりできない、または3年生なのでやったことのないテスト方法を学んで、非常に楽しく有意義に過ごすことができました。参加できて良かったです。
- ✓ 各大学で行われている実習は異なるので、こういう実習は必要だと思います。来年度以降も開講していただけるのはうれしいです。
- ✓ 時間の都合上から実習内容の一部が省略されてしまったのが残念だった。
- ✓ ウイルス培養、細菌培養ができ、参考になりました。大変良かったです。

